

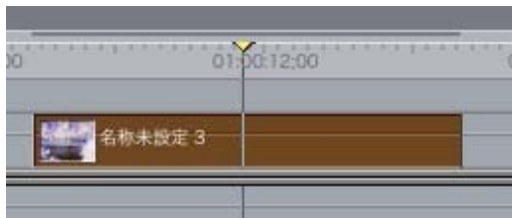
# FxScript Trial

## HDV-DV

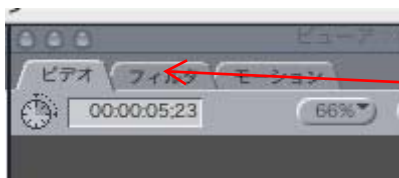
- ・ フィルターの設定
- ・ プラグの機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

# Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。  
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

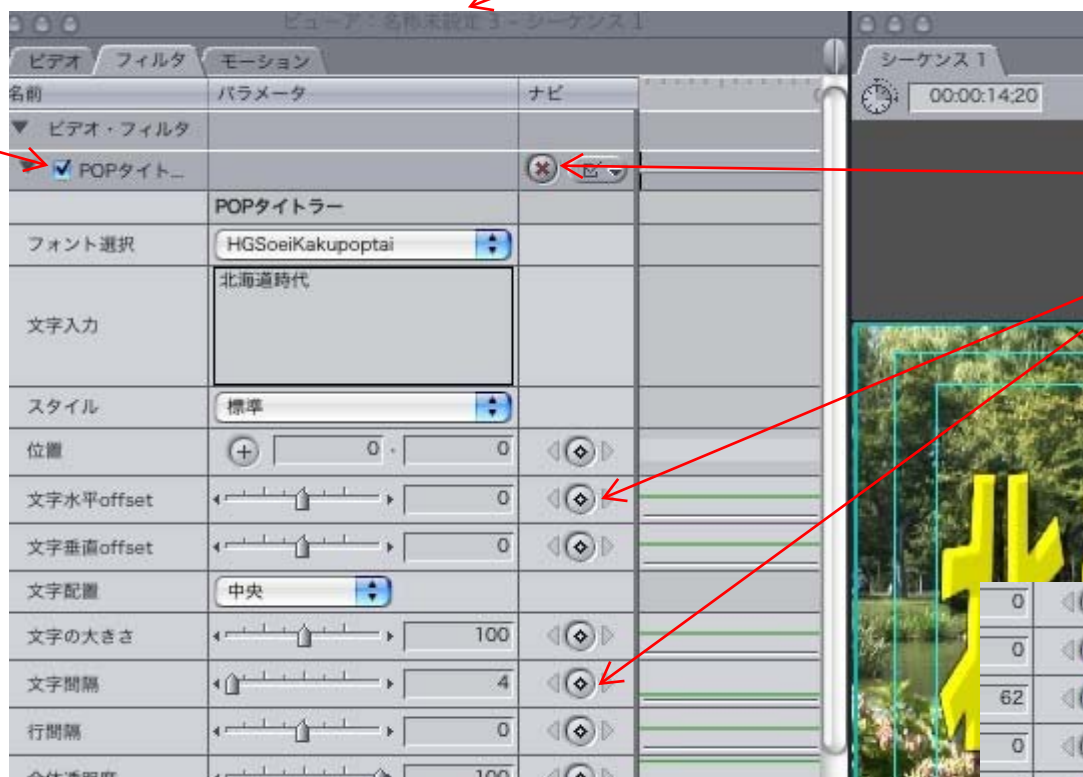


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



## ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

項目ごとに設定

シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変化する。



画像に設定されたプラグ

## HDV→DVの動作原理

FCPのシーケンス上に置く静止画読み取り素材はNTSC/DVの場合は720\*540、非圧縮の場合は720\*547と定められています。

これはよく見ると現行のNTSCテレビ方式の4:3の比率を維持しています。

(丸などのイラストを720\*480で書いて取り込んでも決して丸にはならない経験がありませんか?)

またシーケンスに置かれた画像は解像度とは全然関係なしに720\*540のピクセルデータで取り込まれます。

(解像度に直すと72dpi程度です)

そこで編集方式に合わせたプレートをシーケンスに置きフィルターをかけたらいけるのではないかとこの着想が生まれます。つまり絶対的なNTSCの大きさを保持してフィルターで大型静止画面をコントロールする発想でPictureFlexDVは生まれています。大型画面を縮小してトリミングしても素材が大きければピクセル的には何の問題もありません。プレートに落としてチェック画面で出る枠がNTSC/DVで出力する枠です。(ここまではPictureFlexDVの動作原理です)

このPictureFlexDV同じ着想で生まれたのがHDV→DVトリミングコンバーターです。

ただし静止画と違い動画を扱う場合は次のような問題点が発生します。

・動画のフレームに相対する静止画のフレームが必要なことです

つまり静止画を動かす場合は静止画が1枚ですのでプレートも1枚ですみますが動画の場合は動画秒数分のプレートが必要となるわけです。(レンダリングの時間も必然的に長くなります)

そこでHDV→DVの場合は1分に相当するプレート1800枚(30フレーム\*60秒)の動画プレートをDV(720\*540)、非圧縮(720\*547)をそれぞれ1分作り添付しています。

ですからそれ以上の長さの素材はプレートを作らなければなりません現実的にはDVで編集するカットの

長さは1分以内で済むと言う想定で設計しています。念のために1800枚分のフォルダーを余分に添付しています

ので必要に合わせてフォルダーを並べてFCPで作っていただくようお願いいたします。(この場合吐き出すときはカスタムサイズで上記のサイズで吐き出す必要がありクイックタイムの圧縮方法はフォトJPEGなどを使えば容量が少なく済みます)

使用方法としては

- ★ DV編集の場合DVデータを取り込み
- ★ そのデータを編集シーケンスにおきます
- ★ そのクリップに対してフィルタープラグインの中からHDV-DVを選択します。
- ★ これの映像挿入窓にHDV画像を摘んでいれるとチェック画面が出てきます。
- ★ 大きさや位置などを設定し映像の開始点をフレームで調整してから必要な長さをカミソリを使いカットします
- ★ これでレンダリングをかければトリミングされたDV出力となります



### 注意

ナビを使った大きさの縮小/拡大  
ナビを使った連続回転動作などは  
元々のHDVが持っているインターレースに  
対する処理上のジャギやモワレ等の画質劣化  
の原因となることがありますので注意下さい

FxScript Trial

# HDV-DV

1080/60i (NTSC) のHVDやHi Visionに特化したDV・SD 編集のためのトリミング・プラグです。

HDV・ハイビジョン(1080/60i) 画像入力

クリップの開始位置を1800フレーム以内で調整することができます

トリミング・チェックで切り取る場所の設定ができます。白枠は内側よりテレビのスーパーフレーム、テレビ安全フレーム、テレビ絶対フレームの順でわかりやすくなっています。

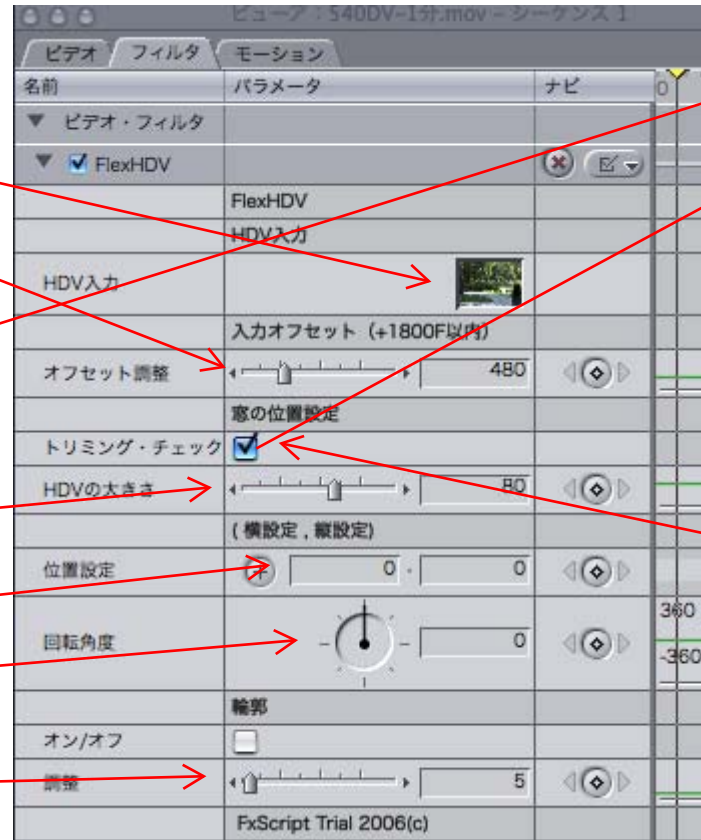
画面サイズ内でもトリミング枠の大きさの設定ができます。

トリミング位置の設定ができます

画像の傾きを左右360度以内で調整ができます。

画像を傾けたときに解像度などが落ちたと思えるときには輪郭をかけることができます。

このプラグは付属のDVデーター（非圧縮データー）をシークエンスにおきそのデーターにフィルターをかけ動画の画像を挿入しサイズを設定するものです。詳しくは原理説明を参照下さい



上の絵はトリミング・チェックの映像です。

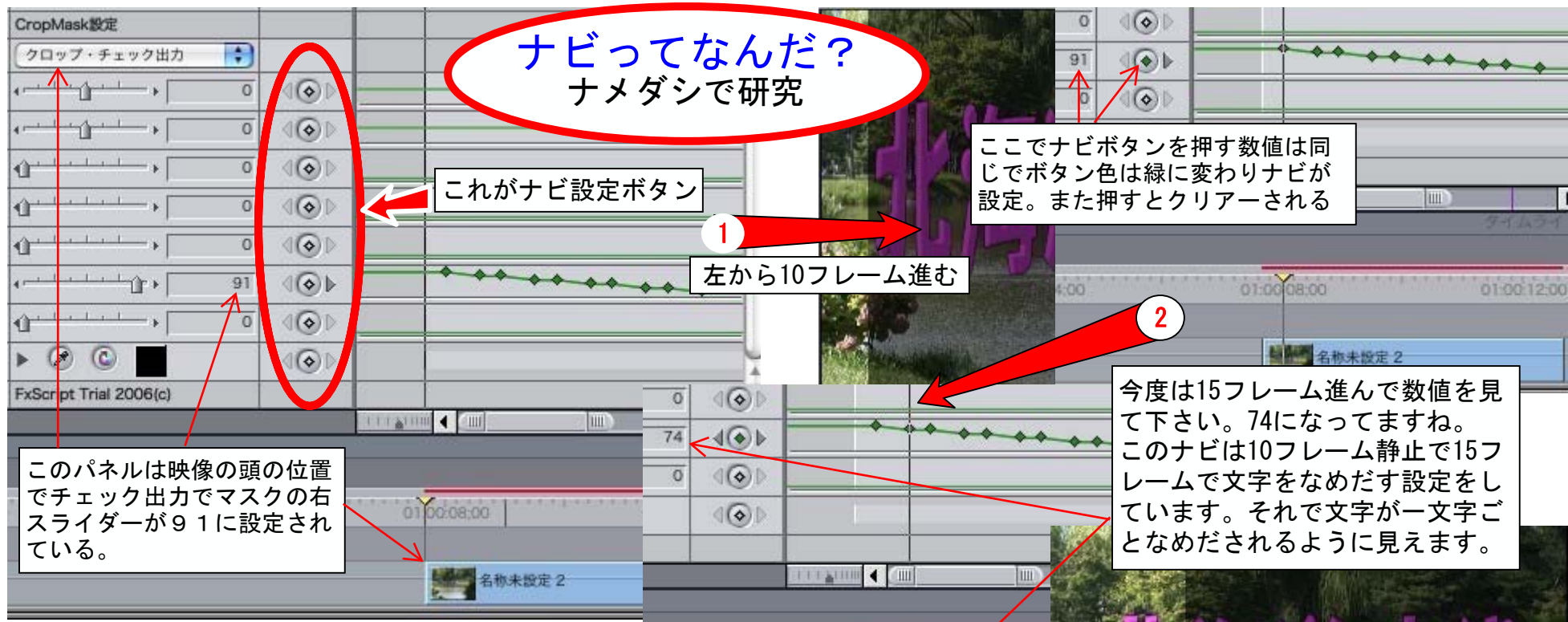
下はトリミングチェックを外した映像でDV出力として処理されます。



デモ映像とご購入はここをクリック

FxScript Trial





ナビってなんだ？  
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

1  
左から10フレーム進む

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

2  
今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一文字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

デモ映像を見る  
クリック

3



**ナビゲーションの説明**  
ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。  
フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。